

# 改訂第2版 序

長らくおまたせしました。「手足本」の通称で多くの読者の皆様に親しんでいただいてきた「バイオデータベースとウェブツールの手とり足とり活用法」の改訂第2版をお届けします。サブタイトルにあるように、この本は実験生物学者の皆様を対象に、編者が選びぬいたデータベースとウェブツールを紹介し、豊富な実例画面により誰でも自在に「使い倒す」ことができるよう工夫をこらして構成しました。「使いこなす」ではなく「使い倒す！」と表現したところに、われわれ製作側の意気込みを感じ取ってください。

幸いなことに手足本の第1版は、大学でバイオインフォマティクス実習の教科書として利用いただきなど、企画段階では予想していなかった活用をされました。ひろく好評をいただいてたびたびの重版を経てきましたが、この分野は進歩が速いためにウェブサイトの機能やインターフェイスがどんどん変わってきて、数年ですっかり古さを感じさせる内容になってきてしまいました。そのため、収録サイトの見直しもふくめ、内容を一新した新版を企画しました。改訂にあたっては、新たに京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンターの平川美夏さんと、情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンターの坊農秀雅さんのお二人に編集に加わっていただきました。最新のサイトの状況に即したリニューアルが実現できて、肩の荷が下りたところです。

単なる機能の紹介やオプションの羅列だけではなく、実際の利用の流れに沿って画面を準備しコメントをつけ、さらに裏技の紹介まで要求するという、面倒な注文にこたえ、行き届いた原稿を準備していただいた執筆者の皆様に、心から感謝いたします。バイオインフォマティクスのツール活用に関しては類書も増えてきましたが、この「手足本」は、ツール使い倒しの最初の一歩を踏みだす生物学者のための行き届いた工夫によって一線を画しているものと自負しています。

完成にいたるまで、根気強くわれわれを励ましてこの書籍を発行に導いてくれた羊土社の安西志保さんと庄子美紀さんに心から感謝いたします。この書籍が皆様の生物学研究の発展の助けとなることを、心から祈っております。

2007年8月

編集者を代表して  
中村 保一